No. 06

モンゴル国工業開発計画調査
簡易企業診断結果報告書

［２３］

セクター：加工製品産業

企業名　：Uurag Corporation

JICA LIBRARY
J1148639[6]

１９９９年１月

国際協力事業団
株式会社サイエス

JICA
115
60
MPI
LIBRARY

鉱調工
CR(3)
99-020

企業診断報告書

Uurag Corporation

1．訪問月日

第1次　1998年 8 月11日　　加藤･佐藤

第2次　1998年10月22日　　加藤・佐藤

相手方面談者　(General Director) Sh.HALTAI 氏

(製造技術担当者)　SAINJARGAL 氏

2．企業概要

工場はウランバートル近郊にある。現在は別経営会社である二つの製粉会社がある。Uurag Altai 社は1996年2月に設立され,9月から稼働開始、製粉事業の他アルコール（モンゴルのウオッカ：アルヒ）の醸造，醸溜、瓶詰も実施している。

一方のUurag Santai 社は1996年9月から業務を行っている。この工場(97年9月稼動)は製粉の他に、麺類、菓子を製造している。製粉機は中国製であるが,メンテナンスが不充分であるため、設置後2年目の機械であるとは思われない。

この会社の特長としては、小麦の受託製粉を行っていることである。委託された小麦を製粉し小麦粉の半分量を渡し、残部は利益として取っている。因みに小麦量の75%～80の小麦粉が取れるがこの内の50を依頼先へ渡すという契約内容である。

3．経営の現況

添付の企業訪問調査表に示す。

4．生産

4－1生産の現状

現状は 小麦粉，ウオッカ、ふすま(飼料)を生産販売している。

製粉工場内は粉塵が多く食品衛生状態は決して良好ではない。また労働安全上も良くない環境である。たとえば小麦浸積槽も清掃不充分なために、発芽した小麦があったりする。

試験室は一応完備しており、小麦粉の分析を始め、ウオッカの品質検定も実施している。ウオッカ規格はヨーロッパ（ドイツ）標準に準拠している。

1148639 [6]

Company Survey Sheet

Sequential No	7	Date of survey:	Aug. 11 , 1998	Name of survey personnel	H.Kato M.Sato

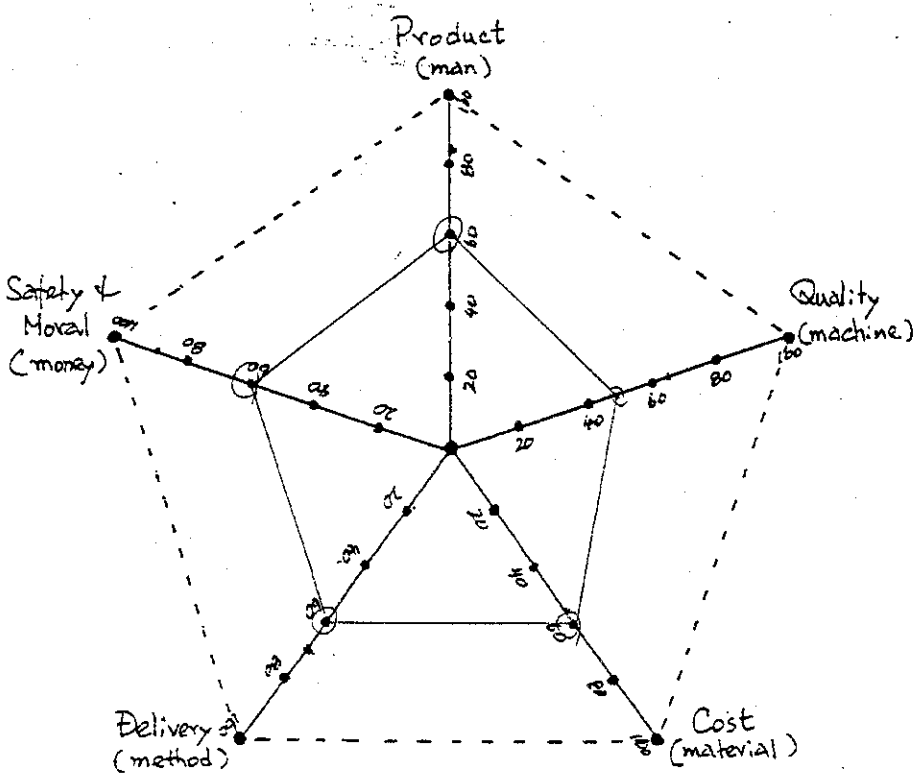
	Item	Surveyed content
1	Name of company	UURAG CORPORATION (Uurag –Altai Co., Ltd . Uuurag Santai Co., ltd.)
2	Address	Bayangol duureg, Ulaanbaatar
3	Telephone/fax:	TEL: 976-1-331180. F AX: 976-1-363453.
4	Established/Commence of operations:	Uurag- Altai : Founded in 1996. Uurag- Santai: Founded in 1997.
5	Capitalized at:	Uurag- Altai: 194Mil.Tg. Yyrag- Santai: 218Mil.Tg.
6	Persons responsible for management:	President: Sh. HALTAI Person in charge of production、SAINJARGAL
7	Situation regarding hareholders:	Private share holders : Uurag-Altai: Haltai 65%, Another 7, 35%. Uurag-Santai: Haltai 51%, Another 11, 49%
8	Number of employees	Total number: 74 Number of engineers: 4
9	Building plot/building:	Plot area: 11,000 m² Built area: 5,600 m²
10	Turnover ('97) Mil.Tg	Uurag-Altai: 17Mil..Tg. Uurag-Santai: 80Mil.Tg.
11	Product Sales structure	Wheat Flour 95%, Wheat bran 5%
12	Customers (percentage of exports and countries exported to)	Domestic market 100% Factory direct store 70.1% Retail store 4.8%, others 24.6%
13	Amount of purchases('97)	Main Material: Wheat Sub material Bag, Seal,
14	Purchased Source ('97) Ratio: Purchased from abroad/Total by country	Main Material: Neighboring aimags
15	Main equipment*1	Altai : Flour mill (0.5T/hr), China made in 1995. Santai: Flour mill(1.5T/hr), China made in 1996.
16	Production footing	1 Shift
17	The average wages	42,000Tg./M
18	Problems/main items that need to be improved.	1) Fund is short. 2) Heavy repayment for loans. 3) Machinery operating rate is low. 3) Raw material cost is increasing. 4) Lead time for law material/parts is long. 5) Due to frequent power failure, the production

		activities would stop sometimes. 6) Specialist education training and talent cultivation are difficult.
19	Funding requirement	Running fund : 60Mil.Tg.(Purchasing wheat) Investment fund : 75mil.Tg. (Confectionery Equipment: 25Mil.Tg. Noodle manufacturing equipment 15mil.Tg Wheat warehouse 20Mil.Tg

Uurag Co.

企業診断評価と問題点

評点の区分
- 81～100点：最良
- 61～80点：良
- 51～60点：可能性はある



IN・PUT　OUT・PUT 別評価.

要素別評価.

4-2 問題と要改善点

生産実態の診断結果を次ぎ頁の「企業診断評価と問題点」に示す。

長所　1)他に見られない受託製粉方式を取っている。

2)全量直営店販売形式

3)小麦粉、ウオッカ（醗酵，蒸留、瓶詰)、ふすま(飼料)からなる多角経営をしている。

短所　1)機械メンテナンスが不充分である。

2)食品衛生に対する知識が不充分である。

3)製品工場内に塵埃多く、原料倉庫に巣くう鳥が工場内にも入り込んでいる。

問題点　1)菓子,麺類など新たな事業開始しようとしている。

2)受託生産方式は現時点では良いが将来ライバルが出現した場合の対策が必要。

4－3 改善目標と改善活動に関する提言，勧告

製造、品質管理、食品衛生面から次の点を指摘した。

1)製品小麦粉の袋を製品倉庫のコンクリート床に直接置いている。パレットを使用するべきである。

2)小麦粉充填作業場では、充填機から粉を袋詰めした後近くにある秤に乗せて計量している。この作業は重量物をその都度上げ下げしなければならない。

3)小麦浸漬槽周辺も清掃不充分で発芽した小麦が多くある。

4)原料小麦倉庫に鳥類が多い。

5)食品衛生管理と機械メンテナンスの徹底化

上記の点を指摘したが、10月には

1)製品倉庫にパレットを購入して使用を開始した。

2)製品秤量作業も秤を床下に埋め込み床面と同一平面にしたところ、作業が容易になった。

3)場内清掃も不充分ではあるが、実施した跡が見られた。

4－4　改善目標、改善活動に関する提言、勧告

上記のとうり、提言に対しては前向きに取り組む姿勢が見られ、約2ヵ月の間に一部ではあるが実施したことは評価できる。

5．販売

5－1 販売の現状

下表に 1995～1997 年の生産量と売上高を示す。

生 産 量 の推移　(1995--1997)　Ton

	1995	1996	1997
小　麦　粉		190	302
副産物 飼料		48	62
合　　計		238	364

売上高の推移　(1995－ 1997)　1,000Tg.

	1995	1996	1997
小　麦　粉		52,081	98,641
副産物 飼料		2,741	
合　計（百万 Tg）		54,822	98,641

生産、売上共に順調に増加している。同社は受託生産を積極的に行い操業度を高める努力をしている。

今年、更に国防省から 1,000 トンの小麦製粉を受注し、これは操業に大きく貢献する。

又、技術力を生かし独自にアルコールプラントを設計、建設し小麦からスピリット用アルコールを生産し、アルヒを生産開始している。

受託品も含め製品の大半、70%は自社工場直売であり販売費は軽減されている。

5－2 販売の提言

小麦粉市場は、中小製粉企業が多く存在し、小口家庭用に供給している。 ついては、大企業との競争よりも、中小製粉企業との競争になろう。 その場合安定操業のために、良質小麦の確保と、優良中小ベーカリーを開拓することが必要である。

操業度を上げるために、小麦製粉の受託加工を拡充することは重要である。

一層、安定操業と品質向上に努力すべきである。

又、金融機関からの借入れが、困難な現状ではあるが、自己資金内での堅実な多角化を企画する必要がある。

6．財務・経理

6－1　財務、経理の現状と提言

UURAG CORPORATION は、UURAG SANTAI と、UURAG ALTAI の 2 社は若干の株主に相違はあるが、実態は同一会社である。 両社とも製粉が主体であり、相互の債権債務関係は特に無い。 従って、UURAG CORPORATION 全体を見るために、やや乱暴ではあるが、管理的に両社の財務諸表を単純に合算し分析を行う。

次ページに 1996、1997、1998 年第２四半期 財務諸表、並びにそれに基ずく財務指標を示す。(1998 年第２四半期の財務指標算出に当たって、売上、利益は１～6 月の実績を２倍して年間と仮定した)

96 年、97 年に製粉設備が稼動し、97 年 9 月、資産再評価を実施している。したがって本年度は償却負担増があるが操業増により実質利益率が向上している。

操業開始間もなくであるために固定費負担が大きく、使用総資本利益率が 1%前後と極端に低い。しかし自己資本比率 78%と自己資本経営であるために、抵抗力がある。今後、操業度を上げ、原価を低減し収益改善を図ることが肝要である。

7．投資計画

7－1 新規事業計画

1）製麺事業

現在、モンゴルの製麺メーカーは、OGOOJ (300T／Y) 、TALKH CHIKHER (600T／y) の２社である。これに輸入麺が相当量ある。 価格は 250ｇが、欧収製品 200Tg. 中国品 150Tg. 国産品 110－120Tg. である。需要は十分あり、小麦粉からの一環生産で企業性あり。

2）ビスケット事業

OGOOJ, TALKH CHIKHER 2 社でかつて、8700T 生産していたものが、設備老朽化、技術の遅れにより 1800Tに落ち、輸入品が増加している

新鋭設備と小麦粉から一環生産により企業あり。

7－2資金需要

運転資金　　60 百万 Tg.

稼動率向上、原料小麦購入資金

設備資金　　75 百万 Tg.

麺 製造設備　　15 百万 Tg.

ビスケット製造設備　25 百万 tg.
小麦原料倉庫改造　20 百万 Tg.

8．総評

8－1　診断評価要約

診断評価の結果を「診断評価実施表」に示す。

強み　1)2 工場を別会計にして運営している。
　　2)多角経営をしている。
　　3)全量直営店販売形式である。

弱み　1)機械類のメンテナンスが悪い
　　2)原料入荷の問題
　　3)原料管理が不衛生である。
　　4)販売が国内に限定される。

問題点　1)今後パン、菓子などの製造への進出。
　　2)食品衛生対策の徹底。
　　3)現方式に対して競争相手が出現した場合の対応策

UURAG-SANTAI

損益計算書 (1,000Tg.)

	96年	%	97年	%	差異	97年1～6月	%
売上	54,822	100.0	79,605	100.0	24,783	42,200	100.0
売上原価	50,162	91.5	75,964	95.5	25,802	31,393	74.4
売上利益	4,660	8.5	3,641	4.5	−1,019	10,808	25.6
一般管理販売費	781	1.4	640	0.8	−141	7,950	18.8
営業利益	3,879	7.1	3,001	3.7	−878	2,858	6.8
支払利息			44		44		
その他	1		998	1.2	997		
税引前利益	3,880	7.1	1,959	2.5	−1,921	2,858	6.8
租税	454	0.8	294	0.4	−160	429	1.0
当期純益	3,426	6.3	1,665	2.1	−1,761	2,429	5.8
(減価償却費)	−1,800		−4,711			−3,444	

貸借対照表 (1,000Tg.)

	1996年12月	%	1997年12月	%	差異	1998年6月	%
<資産の部>							
現金・預金	625	0.3	519	0.2	106	1,221	0.5
売掛金	6,855	3.0	29,367	10.9	22,512	35,366	14.3
その他	73		3,797	1.4	3,724	511	0.2
製品	2,542	1.1	15,050	5.6	12,508	2,525	1.0
原材料	287	0.2	7,080	2.7	6,793	35	
流動資産計	10,382	4.6	55,811	20.9	45,429	39,658	16.0
建物	138,000	61.0	138,000	51.7	0	138,000	55.8
機械等	79,692	35.2	79,727	29.9	35	79,727	32.2
(償却累計)	−1,800	−0.7	−6,511	−2.4	4711	−9,955	−4.0
固定資産計	215,851	95.5	211,215	79.1	−4,636	207,771	84.0
資産合計	226,233	100.0	267,026	100.0	40,793	247,429	100.0
<負債の部>							
買掛金	4,800	2.1	8,245	3.1	3,445	14,909	6.0
未払金	506	0.2	1,390	0.5	884		
短期借入金							
長期借入金			30,000	11.2	30,000	7,500	3.1
その他			4,800	1.8	4,800		
負債計	5,306	2.3	44,435	16.6	39,129	22,409	9.1
<資本の部>							
資本金	217,500	95.7	217,500	81.5	0	217,500	87.9
利益	3,426	1.6	1,665	0.6	−1,761	2,429	1.0
剰余金			3,426	1.3	3,426	5,091	2.0
資本計	220,926	97.3	222,591	83.4	1,665	225,020	90.9
負債及び資本合計	226,233	100.0	267,026	100.0	407,930	247,429	100.0

UURAG-ARTAI

損益計算書 (1,000Tg.)

	96年	%	97年	%	差異	97年1～6月	%
売上			16,785	100.0		14,650	100.0
売上原価			14,147	84.3		12,453	74.4
売上利益			2,638	4.5		2,197	25.6
一般管理販売費			2,387	15.7		1,444	18.8
営業利益			251	1.5		753	6.8
支払利息							*
その他							
税引前利益			251	1.5		753	6.8
租税			38	0.2		113	1.0
当期純益			213	1.3		640	5.8
(減価償却費)			-730			-715	

貸借対照表 (1,000Tg.)

	1996年12月	%	1997年12月	%	差異	1998年6月	%
<資産の部>							
現金・預金	234	0.1	42		-192	772	0.3
売掛金	87,729	29.0	84,013	28.4	-3,716	86,551	29.3
その他	1,916	0.6	1,916	0.6	0	4,771	1.6
製品							
原材料	58,993	19.5	42,721	14.4	-16,272	36,435	12.3
流動資産計	148,872	49.2	128,691	43.5	-20,181	128,529	43.5
建物	60,067	61.0	67,420	22.8	7,353	67,420	22.8
機械等	95,834	35.2	103,251	34.9	7,417	103,251	35.0
(償却累計)	-2,488	-0.7	-3,218	-1.1	-730	-3,933	-1.3
固定資産計	153,413	50.8	167,453	56.5	14,040	166,738	56.5
資産合計	302,285	100.0	296,144	100.0	-6,141	295,267	100.0
<負債の部>							
買掛金							
未払金	7,787	2.6	1,433	0.5	-6,354	128	
短期借入金							
長期借入金	98,536	32.6	98,536	33.3	0	98,536	33.4
その他							
負債計	106,323	35.2	99,969	33.8	-6,354	98,664	33.4
<資本の部>							
資本金	193,954	64.2	193,954	65.5	0	193,954	65.7
利益	1,914	0.6	213		-1,701	640	0.2
剰余金	94		2,008	0.7	1,914	2,008	0.7
資本計	195,962	64.8	196,175	66.2	213	196,603	66.6
1	302,285	100.0	296,144	100.0	-6,141	295,267	100.0

Financial ratio UURAG CORPORATIUON. (Percentage)

	1996	1997	Jun-98
Salis growth ratio		174.5	118.8
Operating profit return on sales	7.2	3.1	7.0
Recurrent profit return on sales	7.2	2.1	5.3
Return on assets	0.6	0.4	1.1
Return on equity	0.7	0.4	1.4
Current ratio	142.9	128.5	139.7
Fixed assets equity ratio	88.5	90.2	88.6
Equity ratio	78.8	74.4	77.7
Liability equity rqtio	26.9	34.4	28.7
Liquidity ratio	22.2	12.5	21.1
Total assets turn over	10.4	17.1	21

Company Diagnosis and Evaluation Table

Date of evaluation: Aug.11, 1998

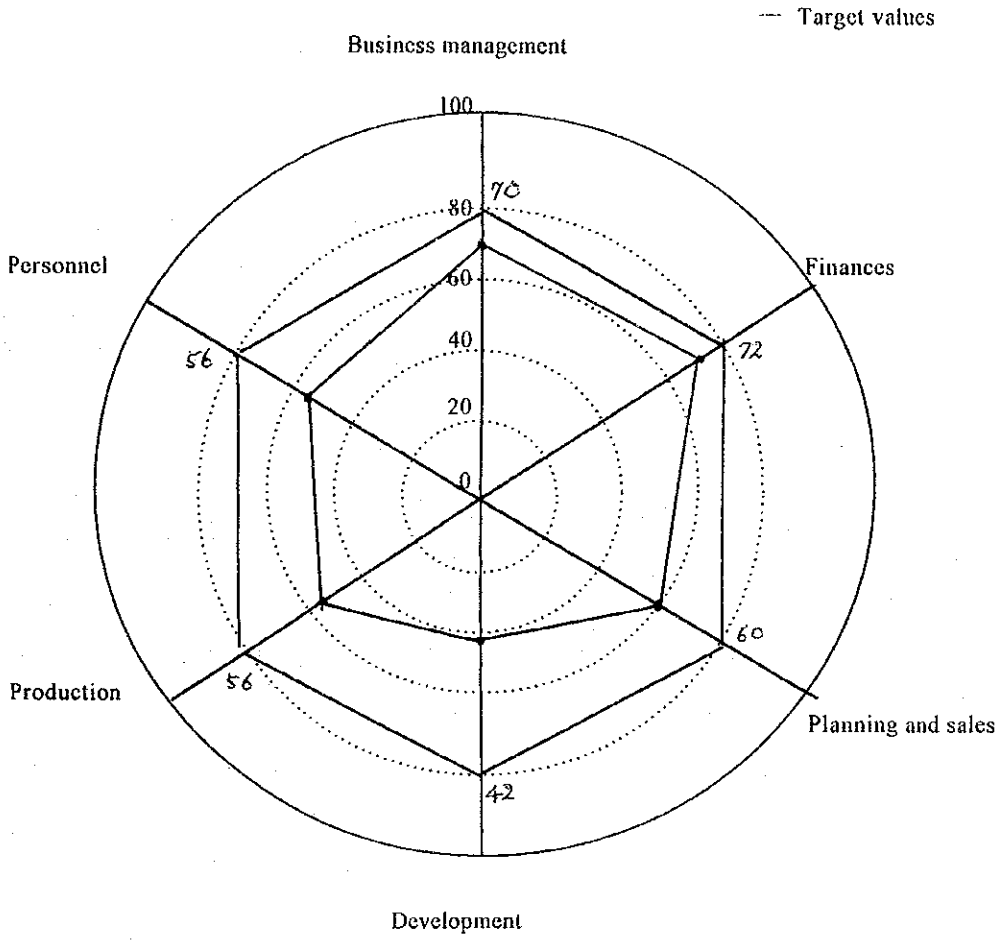
Uurag Corporation

	Diagnosis items	Matters considered relevant judging from hearings, local surveys, etc.	Evaluation points: Excellent – Good -- Fair				
Management and control	Leadership and character of the president		5	X	3	2	1
	Specialized technical capability of managers		5	X	3	2	1
	Business strategy and medium- and long-term planning		5	X	3	2	1
	Degree of enthusiasm regarding innovation		5	4	X	2	1
	Decision-making ability and judgment		5	X	3	2	1
	Policy indicated by the president (regarding ISO-9001)		5	4	3	X	1
	Evaluation in term of SWOT in the market economy		Average 3.5 **(70)**				
Planning and sales	Information collection and analysis ability (information on society, market demand, other companies, technology,etc.)		5	4	X	2	1
	Product planning capability (particularly capability to develop new products and price competitiveness)		5	X	3	2	1
	Market research		5	4	X	2	1
	Situation regarding preparation of sales network		5	4	X	2	1
	Overseas trade competitiveness		5	4	X	2	1
	Situation regarding service		5	4	3	X	1
			Average 3.0 **(60)**				
Development	Number of technical personnel and technical level		5	4	X	2	1
	Situation regarding acquisition of patents and other industrial technology rights		5	4	3	2	X
	Situation regarding preparation of technical standards		5	4	3	X	1
	Situation regarding use of external technology		5	4	X	2	1
	Degree of use of CAD and CAM		5	4	3	2	X
	Situation regarding preparations for ISO-9001 status		5	4	3	2	X
	Present situation regarding development facilities		5	X	3	2	1
			Average 2.1 **(42)**				
Production	Production technology footing		5	4	X	2	1
	Quality control system		5	X	3	2	1
	Situation regarding setting of work standards		5	4	X	2	1
	Situation regarding production facilities		5	4	X	2	1
	System and actual conditions of maintenance management		5	4	3	X	1
	Setting of standard times		5	4	X	2	1
	Cost management		5	4	X	2	1

Uurag Corporation

	Diagnosis items	Matters considered relevant judging from hearings, local surveys, etc.	Evaluation points: Excellent – Good -- Fair				
Production	Situation regarding inventory management Activities for reduction of inventories		5	4	X	2	1
	Rejects depot		5	4	X	2	1
	Situation regarding measures for dealing with deficiencies		5	4	X	2	1
	System and record to date of management of orders placed outside		5	4	X	2	1
	Situation regarding tool management		5	4	3	X	1
	Record to date concerning improvement activities		5	4	3	X	1
	Situation regarding implementation of "5S" campaign		5	4	3	X	1
			Average 2.8 **(56)**				
Personnel	Personnel grooming system for office work and technical departments		5	4	3	X	1
	Personnel grooming system for the shop floor department		5	4	X	2	1
	Employee discipline		5	4	X	2	1
	Rate of employees staying with the company		5	4	X	2	1
	Work system		5	4	X	2	1
	Situation regarding labor unions		5	4	X	2	1
			Average 2.8 **(56)**				
Finance	Preparation and management of medium- and long-term profit plans		5	X	3	2	1
	Situation regarding preparation of financial statements		5	X	3	2	1
	Level of rate of ordinary profit to turnover		5	4	X	2	1
	Wage level		5	4	X	2	1
	Levels of research and development and plant and equipment investment		5	X	3	2	1
			Average 3.6 **(72)**				
		Overall evaluation points = sum of the average points / 6 x 20					
Other aspects	Content of concrete implementation of restructuring plans		5	4	X	2	1
	Content of concrete implementation of plans for promotion of privatization		5	4	3	2	1
Other matters worthy of mention							

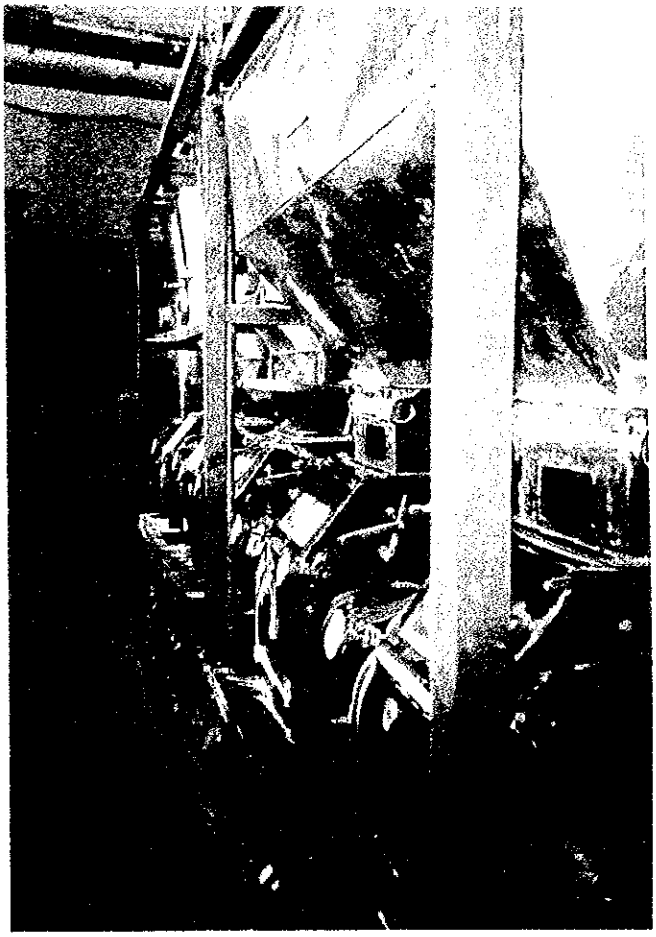
Summary of Results of Evaluation of the Company _Uurag Corporation



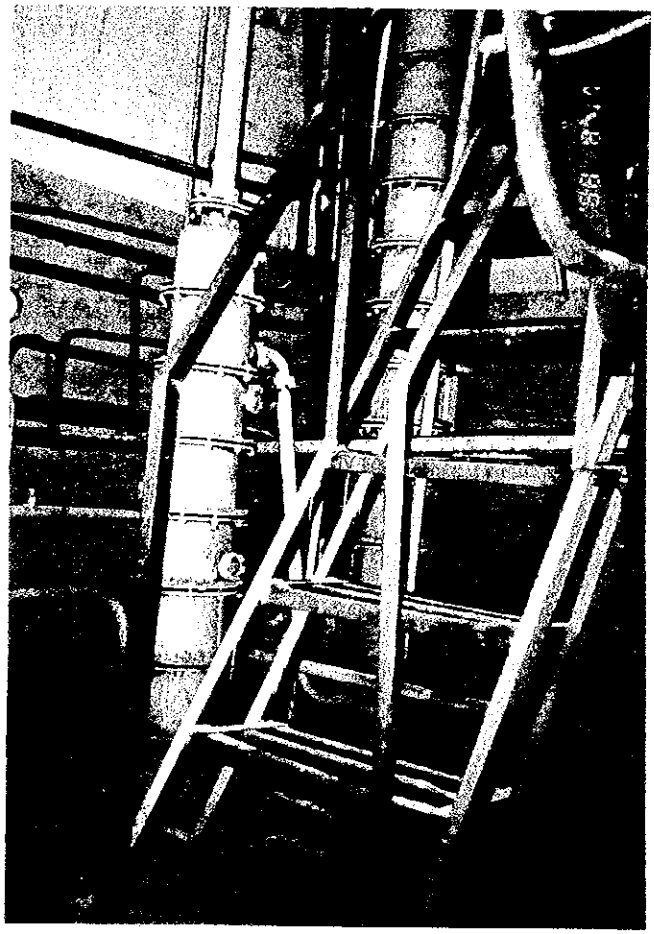
Explanation of Content of Overall Evaluation

Uurag Corporation

Strengths	1) The company operates the factory with its financial accounts separated. 2) They adopt diversified management. 3) All products are sold to shops directly operated by the company.
Weaknesses	1) The machinery is not properly maintained. 2) Obtaining raw material is a problem. 3) Raw material control is unhygienic. 4) Sale of their products is limited to the country.
Problems	1) There is a need to discuss future manufacture of bread, confectionery, etc. 2) Food-hygienic measures should be made more thorough. 3) In the case of competitors' appearance, measures to improve the existing system should be considered.
Other aspects	

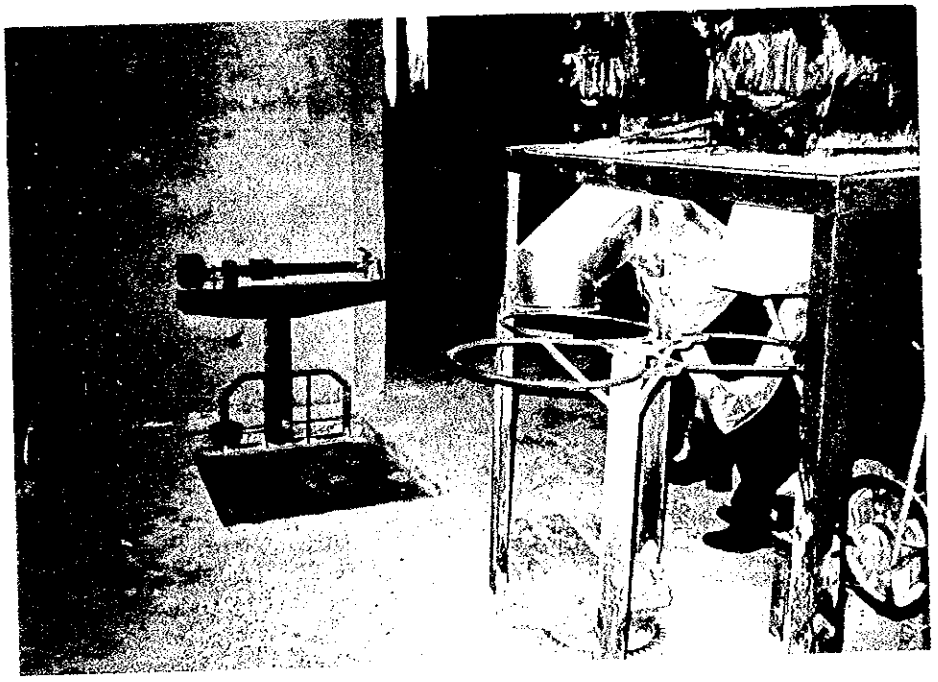


製粉機



アルヒ（モンゴル製ウォッカ）蒸溜器

写真一　　製粉工場の秤量作業（改善前）



写真一　　同上（改善後）秤を床に埋め込み

UURAG. Co, 5 ч ай ай
ε-2 ч ъ ь

Жигнэмэгийн шугамын бизнес төлөвлөгөө

Нэг. Зах зээлийнсудалгаа

Манай улс зах зээлийн эдийн засагт шилжихээс өмнө " Өгөөж" , "Талхчихэр" хувьцаат компаниуд хоногт 12 тн жилд 3270.0 гаруй бүгд 8730 тн жигнэмэг үйлдвэрлэж дотоодын зах зээлийг хангаж байсан билээ. Сүүлийн жилүүдэд үндэсний үйлдвэрүүдийн техник технологи хоцрогдож бүтээгдэхүүний чанар, өнгө үзэмж нь хүмүүсийн одоогийн шаардлагыг хангахгүй болсон учраас " Өгөөж" компаний үйлдвэрлэл жилд 768 тн, "Талх чихэр" компаний үйлдвэрлэл жилд 1000 тн хүртэл буурч даруй 4.9 дахин багасчээ.

Иймээс эх орны үйлдвэрлэлийн техник технологийг орчин үеийн түвшинд гаргаж бүтээгдэхүүний чанар, өнгө үзэмжийг сайжруулбал алдсан зах зээлийг эргүүлэн авах бүрэн боломжтой юм. Нийт зах зээлийн жигнэмэгийн багтаамж 1990 оны түвшинд байвал 8730 тн орчим болох ба бидний төлөвлөж буй жижиг үйлдвэр нэг ээлжээр ажиллахад 211 тн, хоёр ээлжээр 400 гаруй тн жигнэмэг үйлдвэрлэх чадалтай бөгөөд бүтээгдэхүүний үнийг зохистой байлгаж чанар, өнгө үзэмжийг дээшлүүлбэл борлуулалт явуулах бүрэн боломжтой гэж үзэж байна.

Манай орны жигнэмэгийн үйлдвэрийн зах зээлээ алдаж, борлуулалт нь багасч байгаагийн гол шалтгаан нь техник, технологи нь хуучирч, хоцрогдохын зэрэгцээ манай улсад жигнэмэгийн зөвхөн чихэрлэг гэж нэрлэгддэг сахарын орц ихтэй(гурилын 25–40 хувьтай тэнцэх хэмжээний сахар ордог) төрлүүдийг хийж байсан . Харин чихрэлэг бус (гурилын 5–25 хувьтай тэнцэх хэмжээний сахар ордог) янз бүрийн түрхлэг, тослогтой жигнэмэг үйлдвэрлэж байгаагүй явдалтай холбоотой юм. Иймээс бид БНХАУ–д Италийн патентээр үйлдвэрлэсэн цагт 170 кг бүтээгдэхүүн үйлдвэрлэх чадалтай "400" маркийн шугамыг сонгон авч, төсөл тооцоо хийсэн болно.

Хоёр. Үйлдвэрийн хүчин чадал, технологийн тоног төхөөрөмж

2.1. Үйлдвэрийн ажиллах горим

Үйлдвэрийн ажиллах хугацааг баяр, ёслол амралт болон их засвар хийх хугацааг хасч тооцов.

Үзүүлэлтүүд	Жигнэмэгийн үйлдвэрт
Жилийн бүх хоног	365
Баяр, ёслолын өдөр	6
Амралтын өдөр	52
Засварт зогсох хугацаа	15
Хагас сайн өдрүүд	8
Ажлын өдөр (бүгд)	284

I

– борлуулалтаас хамаарч нэг, хоёр ээлжээр ажиллаж болох юм.

– нэг ээлжинд 8 цаг ажиллавал нийт 2256–4512 цаг ажиллах боломжтой.

2.2. Хүчин чадал, борлуулах бүтээгдэхүүн.

Бидний сонгосон төхөөрөмж дундачаар цагт 70 кг, ээлжинд 560 кг жигнэмэг үйлдвэрлэх чадалтай боловч түүний хүчин чадлын 80 хувийн ашиглана гэж үзвэл ээлжинд 448 кг жигнэмэг үйлдвэрлэх юм.

Одоо эх орны 1 кг жигнэмэг 800–900.0 төг., гадаадын 1 кг жигнэмэг 1200–2500 төг байгаа учир бид дундачаар 1 кг жигнэмэгийг 1100 төгрөгөөр борлуулахаар төлөвлөж байна.

Борлуулах бүтээгдэхүүн	кг–аар	мян. төгрөгөөр
Түрхлэгт жигнэмэг	127232	139955.2

2.3. Нийт хөрөнгө оруулалт

Хөрөнгө оруулалтын төрөл	Хэмжээ Үнэ, мян. төг
Тоног төхөөрөмжийн үнэ	15000,0
Барилга байгууламж	5000.0
ДҮН	20000,0

Энэхүү хөрөнгө оруулалтаас 15000.0 мян төгрөгийг зээл авахаар тооцож байна.

Гурав. Үйлдвэрлэлийн зардал ба ашиг

3.1. Үндсэн ба туслах материалын тооцоо

Үндсэн түүхий эд материал

Түүхий эд материал	Хуурай бодис хувиар	Нэг тоннд орох энгийн жин кг	Нэг тоннд орох Хуурай бодисоор,кг	Жилд орох Нэгжийн үнэ,төг	Жилд орох Хэмжээ тонн	Жилд орох Бүгд мян.төг.
1. 1–р гурил	85,5	822,0	703,0	250,0	152,2	38050,0
2. Сахар	99,85	130,0	129,8	450,0	29,9	13455,0
3. Ургамалын тос	100,0	45,0	45,0	1200,0	6,8	8160,0
4. Давс	96,5	6,0	5,8	300,0	1,8	540,0
5. Сийрэгжүүлэгч	50,0	9,0	4,5	500,0	1,4	700,0
6. Инверт	80,0	45,0	36,0	450,0	11,0	4950,0
7. Эссенц	–	1	–			
8. Балбурам	80,0	30	24	400,0	7,4	2960,0
		1043,5	948,1			68805,0

2

Хуурай бодисын алдагдал, 1,3 %		- 12,6
Чийглэг	1000	936,0

Үүнээс гадна жигнэмэг дунд хавчуулах буюу түрхлэг бэлдэхэд орох мате риал 1 тн–д 155 кг орох ба жигнэмэгийн жин (1000–155) 845 кг болно.

Түүхий эд	Орцын норм кг	Нэг бүрийн үнэ төг.	Бүгд үнэ төг.	1 тонны үнэ төг.
Сахар	65	450	29950,0	
Балбурам	20	400	8000,0	
Шингэн сүү	70	250	17500,0	
Дүн	155		54750,0	353225,8

127.3 тн жигнэмэгт 23.3 тн түрхлэг шаардагдах бөгөөд бүгд 8229.6 төгрөгийн түрхлэг шаардагдана. Түрхлэгтэй үйлдвэрлэх жигнэмэг нь 150.6 тн болох ба үндсэн матераиалын зардал 77034.6 мян.төг болох юм.

Туслах материал, боодлын цаас 150.6 тонн жигнэмэгт (1 тн–д 41.5 кг боох цаас хэрэгтэй) 6.3 тонн буюу 10.2 сая төгрөг шаардагдана.

Цахилгаан уур, ус, дулааны зардлын тооцоо

Тоноглол	Марк тип	Цахилгаан зарцуулалт	Хоногт квт	Бүгд квт
Зуурах машин	WT-75	4.75	38,0	10792,0
Хэвлэх машин	Q420	2.26	18,0	5112,0
Жигнэх зуух	YWD-420	83.85	670,0	120507,2
Зөөгч тр–р	CD-400	1,1	8,8	2499,2
Тос түрхэгч	P-480	2,045	16,6	4657,6
Хөргөх ,савлах	FR-800	3,0	24	6816,0
				220384,0

1 кВт цахилгаан энергийн үнийг 38 төг.–өөр бодвол жилд 8374,6 мян.төг. зарцуулах юм. Дулаанд 36 x 12 x 3 x 8 x 54.4 = 564.0 мянган төгрөг гарах болно.

3.2. Ажигллагсдын цалингийн тооцоо

Бүгд 6 хүн ажиллах бөгөөд дундач цалин 60.0 мян. төгрөг бол 6 x 60.0 x 12 = 4320.0 мянган төгрөг. Нийгмийн ба ЭМДаатгал 30 хувь, 1296.0 мянган төгрөг байна.

3.3. Үндсэн хөрөнгийн элэгдэл хорогдлын шимтгэл

Үндсэн хөрөнгө	Шимтгэлийн норм, %	Үнэлгээ мян.төг.	Шимтгэл мян.төг.
Барилга, байгууламж	1,2	5000,0	60,0
Тоног төхөөрөмж	10,0	15000,0	1500,0
			1560.0

3.4. Хөдөлмөр хамгаалал ба бусад зардал

1600.0 мян.төг

3.5. Үйлдвэрлэлийн зардал ба ашгийн тооцоо

Үзүүлэлтүүд	Хэмжээ (мян. төг) 1999	2000	2001
А. Борлуулт			
– Бүтээгдэхүүн,кг	127232	127232	127232
– Борлуулт	139955.2	139955.2	139955.2
– НӨТ(13%)	18194.2	18194.2	18194.2
– Цэвэр борлуулт	121761.0	121761.0	121761.0
Б. Зардал			
Үндсэн ба туслах материал		87234,6	
Цахилгаан дулаан, бусад		8938,6	
Цалингийн сан		4320,0	
НДШ,ЭМД		1296,0	
Үндсэн хөрөнгийн элэгдэл		1560,0	
Зээлийн хүү(8%)		1200,0	
Зардлын дүн	104949,2	104949,2	104949,2
В. Ашиг	16811.8	16811.8	16811.8
Орлогын татвар(15%)	2521.8	2521.8	2521.8
Цэвэр ашиг	14290.0	14290.0	14290.0
Элэгдлийн сан	1560.0	1560.0	1560.0
Санхүүгийн нөөц	15850.0	15850.0	15850.0
Зээлийн төлөлт	3000.0	6000.0	6000.0

Төслийг боловсруулсан: УУРАГСАНТАЙ ХХК
1988 он

UURAG Co. 54事件簿
類

Гоймонгийн шугам байгуулах бизнес төлөвлөгөө

Нэг. Зах зээлийн судалгаа

Манай улсад урьд нь Өгөөж компани, Талх чихэр компани гоймон үйлдвэрлэж байсан бөгөөд Өгөөж компани жилд 300.0 гаруй тн, Талх чихэр 600.0 гаруй тонн европ технологитой гоймон үйлдвэрлэж зах зээлд нийлүүлдэг байв. Одоогийн байдлаар Талх чихэр компани 300.0 тн, Өгөөж компани 600.0 тн савхан гоймон үйлдвэрлэж байгаа боловч ихээхэн зах зээлээ импортын бүтээгдэхүүнд алдаж байна.

Одоо дэлгүүрүүдэд дотоодын 250 г савхан гоймонг 110-120 төг, хятад савхан гоймон 150 төг, Чех болон баруун европын савхан гоймон 200.0 төгрөгөөр тус тус борлогдож байна.(Савлалгаа янз бүр учраас гоймонг 250 г-д шилжүүлэн бодов.)

Өгөөж компани урьд жилүүдэд хоногт 1 тн савхан гоймон үйлдвэрлэж байсан бол одоо 2 ээлжээр ажиллаж 2 тн гоймон үйлдвэрлэн борлуулж байна. Энэ нь манай ард түмний хэрэглэж сурсан урт хэрчилттэй гоймонгийн хэрэгцээ их байгааг харуулж байна. Ийм үйлдвэрлэлийг нэмэгдүүлэх зорилгоор ээлжинд 1.5 тн гоймон үйлдвэрлэх чадалтай иж бүрэн шугамыг сонгож байна. Энэ шугам нь урт хэрчилттэй нарийн гоймон 1 х 1 мм-ийн, савхан гоймон 1.8 х 1.8 мм, туузан гоймон 3 х 1мм-ийн зэрэг гурван ангиллын олон янзын жортой арав гаруй нэр төрлийн бүтээгдэхүүн үйлдвэрлэх боломж нөхцөлтэй юм.

Хоёр. Цехийн ажиллах горим, тоног төхөөрөмж

2.1. Ажлын горим

Жилд ажиллах хоног 284
Ээлжийн тоо 1
Ээлжийн үргэлжлэх хугацаа 8 цаг
Жилийн ажлын цагийн фонд 2272

Цаашдын бүх тооцоог нэг ээлжээр ажиллахаар тооцов.

2.2. Борлуулах бүтээгдэхүүн, хүчин чадал

Төхөөрөмжийн хүчин чадлыг 80 хувиар эзэмшихэд ээлжинд 1.4 тн гоймон үйлдвэрлэнэ.

Бүтээгдэхүүн	Хэмжих нэгж	Борлуулалтын хэмжээ	
		Биет нэгжээр	Үнийн дүн, сая.төг.
Урт хэрчилттэй гоймон	тонн	426	204.5

1 кг гоймонгийн үнийг 480 төгрөгөөр, нэг боодлыг 120 төгрөгөөр тооцов.

2.3. Нийт хөрөнгө оруулалт

Хөрөнгө оруулалт	Хэмжээ сая.төг

1. Гоймонгийн иж бүрэн шугамын

	тоног төхөөрөмж	15.0	
2.	Барилга, байгууламж	2.0	
3.	Тээврийн хэрэгсэл (УАЗ-452 фургон)		5.0
	ДҮН	22.0	

Үүнээс зөвхөн тоног төхөөрөмж худалдан авахад зориулан 15000.0 мянган төгрөгийг зээлээр авахаар тооцож байна. Үлдсэн 7000.0 мян.төгрөгийг өөрийн хөрөнгөөс гаргах болно.

Гурав. Үйлдвэрийн зардал ба ашиг

Бүтээгдэхүүний нэр төрөл, зах зээлийн тухайн үеийн нөхцөл байдлаас шалтгаалах бөгөөд "Савхан гоймон" үйлдвэрлэх эдийн засгийн үр ашгийг тооцов.

3.1. Үндсэн түүхий эд материал

	Түүхий эд	Хуурай бодис	1 тоннд орох жин	1 тоннд орох хуурай бодис	Жилд хэрэглэх Хэмжээ тонн	Жилд хэрэглэх Нэгж үнэ	Жилд хэрэглэх Өртөг сая төг
1.	1-р гурил	85.5	996.1	851.66	362.8	250000	90500.0
2.	Давс	6.5	24.0	23.16	10.0	300000	3000.0
	ДҮН		1020.1	874.8			93500.0
	Хуурай бодисын алдагдал	2.9	1000	850.0			

3.2. Туслах материал

250 грамм гоймон бооход 15 төг., 1 кгд 60 төг., 1 тоннд 60000 төг. бол бүгд 25560.0 мян.төгрөгийн боодлын цаас хэрэгтэй болох юм.

3.3. Уур, ус, цахилгааны тооцоо

д/д	Хэрэглээний нэр	Хэмжих нэгж	Нэгжийн үнэ /төг/	Бүгд хэрэглэх /мян.төг/
1.	Цахилгаан	квт.цаг	38	1526.0
2.	Дулаан	1 куб.м	100.0	162.0
3.	Уур	г.калор	3500	3560.0
	ДҮН			5248.0

3.4. Бусад зардалд 1700.0 мянган төгрөг төлөвлөв.

3.5. Цалингийн зардал

Энэ цехэд 12 хүн ажиллах бөгөөд нэг хүний дундаж цалин 30000 төг гэж үзвэл нийт цалингийн сан 12 х 12 х 50 =7200.0 мянган төгрөг. Нийгмийн ба эрүүл мэндийн даатгал 20%–аар тооцоход 1440.0 мянган төгрөг болох юм.

3.6. Үндсэн хөрөнгийн элэгдэл хорогдлын тооцоо

д/д	Үндсэн хөрөнгийн төрөл	Үндсэн хөрөнгийн (мян.төг)	Элэгдлийн норм %–аар	Байгуулах элэгдэл хорогдол мян.төг
1.	Тоног төхөөрөмж	15000.0	10.0	1500.0
2.	Барилга байгууламж	2000.0	1.2	24.0
3.	Тээврийн хэрэгсэл	5000.0	10.0	500.0
				2024.0

3.7 Үйлдвэрийн өртөг, үр ашгийн тооцоо

Үзүүлэлтүүд	Хэмжээ,мян.төг. 1999	2000	2001	Бүгд
А. Борлуулт				
– Бүтээгдэхүүн, тонн	426	426	426	
– Борлуулт	204000.0	204000.0	204000.0	
– НӨТ(13%)	26520.0	26520.0	26520.0	
– Цэвэр борлуулт	177480.0	177480.0	177480.0	
б. Зардал				
Үндсэн ба туслах материал		119060.0		
Цахилгаан, дулаан, уур бусад		5248.0		
Хөдөлмөр хамгаалалт, бусад зардал		1700.0		
Үндсэн цалин		7200.0		
НДШ,ЭМД		1440.0		
Үндсэн хөрөнгийн ЭХШ		2024,0		
Зээлийн хүү(Жилийн8%)		2000.0		
Зардлын дүн	138672.0	138672.0	138672.0	
Ашиг	38808.0	38808.0	38808.0	
Орлогын татвар(15%)	5851.2	5851.2	5851.2	
Цэвэр ашиг	32986.8	32986.8	32986.8	
Элэгдлийн сан	2024.0	2024.0	2024.0	
Санхүүгийн нөөц	35101.8	35101.8	35101.8	
Зээл төлөх	5000.0	10000.0	10000.0	25000.0

Боловсруулсан: УУРАГСАНТАЙ ХХК, 1998 он

JICA